

林要 はやし けい 経済學者。明治二十七年五月二日山口縣生れ、平成二十

一年一月二十六日歿（八五―九九）。第一高等學校を経て、大正九年東京帝國大學法學部卒。大原社會問題研究所入り、『日本労働年鑑』編輯の責を。その後同志社大學教授となるも、昭和十一年又戦論者として大學を逐はれ、更し十二年執筆禁止せられたため、東京杉並で農耕に従事。戦後愛知大學教授、關東學院大學教授を歴任。

著書 『貨幣のたゞし社會』（昭和八年十一月五日大畑書店）、『猿と人間と社會』（昭和十一年四月二十一日義文閣）、『忘れ得ぬ人々』（昭和十二年五月二日林文也刊）等の他、『經濟のクレーク著』 『分配論』（大正十二年九月五日岩波書店）、A・G・ホーブル著 『ナンセン傳』（昭和十七年一月二十日岩波書店）『岩波新書』、『ちやんちんセン伝』（二十二年十一月十五日同）『岩波少年文庫』（等）がある。

